

2025年度 就職先企業等の「大学の取組に対するご意見・ご要望」アンケート

1. アンケート概要

大学の取組に対する意見・要望について、以下の4点に関してアンケートを用いて意見聴取。

- (1) 「キャリア教育・就職支援活動に関すること」
(例) キャリア教育、インターンシップ、就職関連の要望事項など
- (2) 「産業界が求める人材・スキルについて」
(例) コミュニケーション能力、教養力、英語力、ICT理解・運用力など
- (3) 「研究活動の高度化・実用化に関すること」
(例) 研究活動についての具体的な要望、共同研究に関する意見、研究施設に関する感想など
- (4) 「教育改善に関すること」
(例) 授業改善（教育DX、アクティブ・ラーニング等）、研究高度化の参考になったことなど

2. 意見聴取対象企業

過年度卒業生の就職実績のある企業のうち、特に採用を増やしていただきたい、もしくは、新たに採用をしていただきたい企業を本学に招いて、企業向けオープンキャンパスにあたる企業交流会（学園紹介・学部/大学院紹介・学科ポスターセッション・学生発表・施設見学・情報交換会）を2025年10月31日（金）開催。出席いただいた企業に対して意見聴取を実施後、就職委員会を通して各学科と共有しカリキュラム検討に活用。

3. 出席企業

49社/62名（内、58名/93.5%が回答）

4. アンケート回答結果（意見集約）

(1) 「キャリア教育・就職支援活動に関すること」

① 大学の取り組み・教育への評価

- 指導に当たられている先生の思いも聞けて、非常に素晴らしい教育をされていると思った。
- とても熱心に就職支援をされているイメージを持った。学生にも社会人に必要なスキルを大学の時点から教えられていることが分かった。
- 他大学を大きく上回った対応をされています。
- 「自主的」な学びが出来る雰囲気を感じた。

② インターンシップ関連

- インターンシップについては、早い時期からの説明会の開催をお願いしたい。（6月→4月）
- インターンシップを積極的に行っていく。ぜひ企画を紹介させてほしい。

③ 企業との接点・説明会の拡充

- 大学のキャリア教育や就職支援活動で企業として参加できるものについては、引き続き情

報提供をしてほしい。

- 企業説明会や授業の中で紹介の機会を今まで以上にほしい。
- 貴学開催の合同企業説明会等、学生との接点を持つ機会を増やしてほしい。
- 合同説明会の1日あたりの企業数を減らし、その分開催日を増やしてほしい。
- 以前に企業講話を実施したことがあり、広く学生にアプローチできる機会がほしい。

④ 採用・マッチングに関する要望

- 技術系大学ということから、特に企業としては専門分野を絞った中での採用を検討したい。希望学部・学科単位で企業が求人希望をエントリーできるような制度があれば企業と学生のマッチングがよりスムーズになるのではと思う。
- パワエレ、モータなどの分野で優秀な学生がいたら紹介してほしい。
- 学部や学科を問わずモノづくりに関心のある学生がチャレンジできる環境づくりに今後も努力していくので、幅広い学生に関心や興味を持っていただけるような教育や支援をお願いしたい。

⑤ その他

- 東京の会社のため、九州地区での活動は力を入れています。
- 弊社では入社後の教育に力を入れている。貴学は十分な活動をされているものと思うが、キャリア教育は今後より必要になっていくものと思われる。

(2) 「産業界が求める人材・スキルについて」

① コミュニケーション能力

- コミュニケーション能力は共通ですが、経営に必要なファイナンスの知識も共通だと思います。あとはその上での、決断する力を養うためのリベラルアーツ、あとは専門能力の向上。
- 自律性（主体性）、専門力（技術力）を選考の中で確認させていただくことが多い。
- 発想力、柔軟さ（様々な意見を受け入れられるしなやかさ）を重視。
- 論理的な思考力、リーダーシップ、ITスキル、国際感覚、AIに関する素養。
- コミュニケーション能力はとても重要。チーム開発でもチーム内でのやり取りは多いですし、多くのステークホルダーと協業しなければ、一つのプロダクトが完成しない。
- 責任感と協調性
- 建設業の仕事は仕事のスキルとあわせコミュニケーション能力が重要。幅広い年齢層ともチームで仕事を進めていく。

② 主体性・積極性・学び続ける姿勢

- 主体性。
- 学生の内から、失敗を恐れずに積極性を発揮する人材。
- 何事にも積極的に吸収しようとする姿勢。
- 好奇心、積極性、考え抜く力。
- 潜在能力を高め続けられる好奇心とそれを業務で顕在化できる発信力・コミュニケーション能力。
- 主体的に取り組む力と、辛抱強さ、この二つが非常に重要。スキルはいくらでも身につく

が、基礎的な教育は非常に重要。

- 企業に入職してからも様々な変化に対応することが求められるので、自分で問いを立て、学び続ける姿勢をもった人材。
- キャリア自律の世の中となりつつあります。企業は育つ環境は整えているものの、スキルを伸ばすのは自分であることへの自覚や、自己効力感を持てる人材を求めている。

③ 専門力・技術力・応用力

- 基礎は学べているので、応用・運用力のスキルを上げると更に良いと思われる。
- 電気、ソフトウェア領域が今後ますます需要が高くなる見込み。知識だけでなく、それらを応用し幅広く展開できる優秀な学生を求めている。
- 実際にすぐに手を動かすことができ、かつ緻密に問題解決の道筋を模索できるエンジニアを希望。学部時代に色々なプロジェクトで活動を重ねて、かつ、大学院などで問題解決を多く経験するような学生が望まれる。
- 「技術」が好きな方を、貴学でも育ててほしい。

④ グローバル対応・語学力

- 英語力やゼロからイチを生み出す能力がますます求められるため、多くの学生が卒業までに能力をさらに高められる体系的な指導を期待する。
- 海外留学等で異文化を理解することは重要。
- 異文化理解度の高い学生。語学が堪能なだけでなく、直接海外の空気に触れる経験、外国籍学生との日々の交流などを重要視。
- 弊社では英語力はMUST。英語でディベートできるレベルが必要。また英語だけでなく、もう一つ言語が話せるスキルがベネフィットとなってきたので、語学力で就職したい学生は、英語+αを身につけてほしい。

⑤ 大学教育への期待

- 大学で学んだことを、実社会で活かす事の重要性を教育する、この点の大切さを改めて感じている。
- 大学にしかできない、自由な発想を、是非大事にしてほしい。
- 今後40年近く、モノづくり業界で働くと思うが、素養などは、企業側で十分教育などでもできる。
- いろんなことに興味を持って業務（商品開発、設計、生産等）に取り組める方を求めている。

⑥ その他（人間力・社会人基礎力）

- 基本的にはコミュニケーション能力とデジタルに関するスキルを求めているが、何より人間力。
- コミュニケーション力をはじめ、社会人としてリテラシーを持った方、応用力のある方が求められる。
- 周りを巻き込む力、探求心がある方を望む。情報系のスキルを学んだ学生に惹かれる。

- 社内でも20代は特に受け身の姿勢でいる事が多いと感じている。

(3) 「研究活動の高度化・実用化に関すること」

① 産学連携・共同研究への期待

- 共同研究など、是非、産学連携ができると嬉しい。
- 研究などにおいて、当社の技術が貢献できることがあれば協力させてほしい。
- もしかしたら、研究活動の一環として、何かお手伝いできることがあるかもしれない。

② 研究環境・施設への評価

- 施設見学をして、学生がいつでも研究に没頭できるような環境づくりをしていることを理解した。
- 研究施設を見学したが、非常に素晴らしかった。具体的な成果をできる限りの範囲で見える工夫をするとより素晴らしさが伝わるように思う。

③ 技術投資・高度化への要望

- 施設の導入に多額な費用が必要だが、技術力の変化のスピードが速いので、積極的投資は必要。
- DX人材の枯渇が社会問題にもなっている。今後ますます必要となる分野への社会人受け入れ等も検討してほしい。

(4) 「教育改善に関すること」

① 人間力・コミュニケーション能力の強化

- 研究や教育については素晴らしいと思うが、教育以外のコミュニケーション能力や失敗しても頑張れる根性といった人間性の部分も伸ばして欲しい。
- 人間教育に力を入れてもらうことが大切。

② 実践的な学び・社会との接続

- 学生時代からINPUTだけでなく、その知識を使った実験などに積極的に取り組めると、社会人になってからのギャップが少なくなると感じた。
- 企業との連携授業やインターンシップを通じて、実社会と結びついた教育の展開をさらに進めてほしい。
- 企業とのコラボレーションでより実用的な観点で研究を進められると、産学双方にとって有益な成果に結びつけられる期待を今回紹介頂いた一連の内容から思った。

③ アクティブ・ラーニング・参加型授業

- アクティブ・ラーニングの取り組みは弊社の取り組みと似ており、共感した。
- 学生の参加型授業は、自分の考えをまとめて意見を述べるという日本人には苦手な分野を克服し、グローバルな人材を育成する事に大きな効果があると思う。

④ 企業との連携・情報共有

- 企業が学生から発表を聞かせていただく機会が今後もあると大変ありがたい。
- 学生には教育（研究）第一であって欲しいのですが、企業としても早期選考や1年中の採用活動となっており、何かしらの手立てを共に考えていきたい。